

## 平成21年度第1回経営改革推進本部会議 議事要旨

開催日時	平成21年4月13日(月) 13:10~15:10
場 所	習志野市役所 本庁舎5階入札室
出席者	[本部長] 荒木市長 [副本部長] 島田副市長 [本部長] 植松教育長、西原企業管理者、小川消防長、 石井企画政策部長、本城総務部長、橋本財政部長、平賀環境部長、志村市民経済部長、 山下保健福祉部長、中村都市整備部長、鶴岡こども部長、久保田会計管理者、 山崎議会事務局長、柴崎教育総務部長、若崎学校教育部長、加藤生涯学習部長、 和田企業局業務部長、小原企業局工務部長
議 事	I. 検討事項 1. 平成21年度の経営改革の取り組みについて <b>資料1</b> 2. 平成22年度予算編成に向けた対策について II. 平成21年度における各部局の達成すべき目標について III. 報告事項 1. 経営改革の具体例について

## 市長訓示

21年度は、習志野市の55年の歴史の中でも最も重要な年であると考えており、特に前半の9月までの作業の結果が、22年度以降の習志野市の将来像を決定付けるのではないかと考えている。

国は、過去に例のない大規模な経済対策を打ち出しているが、現在の私たちの生活水準は、国と地方を合わせて800兆円を超える、大変な額の債務残高を抱えた中でのものであり、将来世代への負担の先送りの上に成り立っていることを肝に銘じておかななくてはならない。このような中で、習志野市の行財政運営の舵取りをどうすれば良いのか。21年度予算は百年に一度の状況という中で、積極的な予算を組ませていただいたが、将来を展望する中で、もう一度冷静になり、じっと我慢してやっていかねばならない状況であると認識している。しかし、様々な反対や要望があがってくることは間違いない。ここでは、職員全員が同じ考え方に立ち、市の考えを説明していかなくてはならない。私は、習志野市の多くの職員が、この難局を乗り越えていくための知力、体力、能力を持っているものと確信している。各部局のリーダーとしての各委員が、この経営改革推進本部において一堂に会して、今後の習志野市の舵取りについて、真剣に話し合い、皆が一致団結して、この難局を乗り越えていくことを期待している。

## 検討事項 1. 平成21年度の経営改革の取り組みについて

事務局より、平成20年度の経営改革の計画及び実績と21年度の取り組み案について説明。集中改革プランをはじめとする行財政改革の各種計画の前倒し見直し、見直し作業に合わせた庁内組織による事業総点検の実施、公会計制度改革における単体・連結の財務四表及び「財政に関する年次報告書」作成、資産の有効活用及び財源確保に向けた取り組み等について、本案のとおり実施することを確認し、了承された。

## 検討事項 2. 平成22年度予算編成に向けた対策について

平成26年度までの財政見直しについては、市税収入の落ち込みや扶助費の増加等が予測されること、また、22年度予算編成が非常に厳しいことが予想されることから、財政課による各部見直し項目について説明。今年度予算編成前までに、各部見直し事項について、対応していくものとした。

## 平成21年度における各部局の達成すべき目標について

各部局長委員16人より、年度当初にあたっての各部局の目標と経営改革の取り組みについて発表。

## 報告事項 1. 経営改革の具体例について

現定員適正化計画を例とした計画の必要性・実行と、実績値及びその実施内容に係る計画との整合性の乖離の問題から、計画の推進における全体調整の必要性等について説明。また、財源確保策の取り組みとして、駐車場運営管理・広告掲出・ネーミングライツに係る関心表明の実施案について、今後ホームページや記者会見等で広く募集を行っていく予定である旨報告し、了承された。